

ポラリス

札幌社会保険総合病院 院外広報誌

第24号

2012年4月



- 院長就任の挨拶
- 院長退任にあたって
- 秦院長退任記念講演
- 医療の現場から① ②
- 第13回 市民公開フォーラム
糖尿病のはなし
「糖尿病予防の食事～食生活の見直しを」から
- ホームページリニューアルしました！
- こんにちは 医療連携・相談室です

ポラリスの由来

ポラリスは北極星を意味します。当院の前身である北辰病院の北辰もまた、ポラリスと同じ北極星を意味する言葉なのです。北極星のように、北国の中心で悠久に燦然と輝き続けたいという願いが込められているのです。題字は秦院長の直筆です。



全社通

URL <http://www.sapporo-shaho.jp/>

院長就任の挨拶

院長 佐々木 文章



この度4月1日より病院長になりました。就任するにあたり、抱負を述べさせていただきます。

当院は平成2年に札幌市中央区北1条からこの地に移り、病院名を札幌社会保険総合病院としてから22年が経過しました。代々の先生が病院を運営してきた後を引き継ぎさせていただきます。私は、当院に赴任してきてから2年経過し、1年前から副院長として病院管理業務にかかわるようになり、当院の運営が分かってきました。まだまだ不案内なことも多くありますので皆様のご支援をお願いいたします。

さて、平成23年に社会保険病院が独法化する法案が国会で承認されました。3年以内、すなわち平成26年4月までに全社連が独立行政法人 地域診療支援推進機構と改組され、その傘下の1病院となることになっております。病院の運営形態の詳細は現在検討中です。

当院は地域診療支援病院として認定されておりますので、今後一層「如何に地域の病院としての使命、役割を果たすか、その存在意義を示すか」ということを第一とし、地域医療機関との連携強化や皆さんの「働く環境整備の充実」を図ることを、これまで行っていました。その方針をさらに一層踏襲したいと思っております。まずは厚別地区の住民の皆様、病院・診療所の諸先生のご期待に添えるよう努めます。具体的には、救急患者さんも先生方から相談がある限り見させていただくようにしております。

また、出産ができる病院が少なくなっている現在、当院のように小児科がある病院で積極的に出産をしていただきたく思っております。重篤でない内科疾患は総合内科医がかかわることになります。将来は老人科としての診療も行っていくことを計画しております。

幸い、皆様のご協力により、平成23年度は順調に本院の運営ができております。戦後最大の国家危機が近づきあると言われている現状を考えますと、現在進行しているさまざまな計画に支障が生じてくる可能性も否定できませんが、職員一同病院運営を行って行きたくぞんじます。

皆様のご協力をお願い致し、挨拶とさせていただきます。

院長退任にあたって

綿々と引き継がれる「北辰の系譜」

秦 温 信



3月31日をもって院長を退任することになりました。改めて当院の精神的なバックボーンとなっている「北辰」という名称の成り立ちについて考えてみたいと思います。

当院の創立は、明治26年（1893）関場不二彦先生が「関場医院」として開設されたのに始まります。来る4月24日で120周年を迎えるわけですが、区立（現在の市立）札幌病院の院長であった関場先生が民営で官立に対抗できるだけの病院をつくろうと考えたとされています。翌年「北海病院」と改称され、その4年後の明治31年にはさらに「北辰病院」と改称されております。どうして「北辰」という名称に変えたのでしょうか。

